

地域公共交通基本構想の進捗状況について

豊能町では、人口減少や少子化、超高齢化により様々なまちづくりの課題が生じている中、持続可能なかたちで課題解決を図るため、まちづくりと連携した総合的な交通ネットワークの目指すべき方向性を「豊能町地域公共交通基本構想」として、本地公会議での検討のもと、平成26年4月にとりまとめました。

【概要】

「定住化の促進と高齢者にやさしい」まちづくりのために、＜広域的なネットワークを活かした幹線の整備＞、＜幹線と一体的に運行する地域内のフィーダー（支線）の整備＞、＜交通空白地の解消＞を目指す。

【主な内容】

- 能勢電鉄駅と千里中央を結ぶバス路線の実現
- 阪急バス北大阪ネオポリス線の箕面トンネル経由便の実現
- 光風台駅と光風台／新光風台、ときわ台駅と東ときわ台を20分間隔で結ぶシャトル便の実現
- 路線バスの乗り継ぎによる東西間移動（最大60分間隔）の実現

【取組方針】

- 構想の実現に向け、短期、中期、長期の計画を定め、期間ごとに施策評価を行いながら取り組みを進める。

【計画項目の実施状況】

	計画項目（抜粋）	実施状況
短期計画	東西バスの廃止	完了
	リレー便の運行 ※東西間移動60分間隔、箕面森町接続30分間隔	実施中
	東地区デマンドタクシー	実施中
	路線バス一部補助（豊能西線）	実施中
中期計画	ときわ台駅及び周辺整備	完了
	ときわ台駅・光風台駅シャトル便	実証実験に包含
長期計画	箕面森町線延伸	豊能西線の再編
	北大阪ネオポリス線箕面トンネル経由便	実施中